

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	鋼・コンクリート機械的ずれ止め小委員会		主 査 名：福元敏之 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：堺 純一
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>合成構造の根幹となる接合部の機械的ずれ止めに関して、構造設計法を検討し、設計指針を刊行する。</p> <p>初年度(2015 年度)：設計指針の目次検討及び各種機械的ずれ止め設計法の検討。 2 年度(2016 年度)：各種機械的ずれ止めの設計法の検討及び指針執筆準備。 3 年度(2017 年度)：各種機械的ずれ止めの設計法の確立及び指針執筆。 4 年度(2018 年度)：設計指針のドラフト版作成。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：福元敏之(鹿島建設) 幹事：城戸將江(北九州市立大学) 委員：島田侑子(千葉大学)、鈴木英之(安藤・間)、田中照久(福岡大学)、馬場望(大阪工業大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2018 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD：鋼・コンクリート機械的ずれ止め設計指針に向けて ― 合成構造の基本接合要素における設計と今後の展開 参加者数 103名 『構造部門(SCCS)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の計画通り、頭付きスタッド及び孔あき鋼板ジベルに関して、設計法を検討し、設計指針のドラフト版を作成した。今後、設計指針の査読・修正を行い、刊行、講習会開催へ展開する。 2. 大会PDにおいて、設計指針案の骨格を提示し、会員からの意見聴取を行い、設計指針案に対する異論はなく、ずれ止め設計指針の必要性を再確認し、提示の設計指針案に基づき執筆を遂行することとした。
委員会活動の問題点・課題	1. 特に問題点はない。